

## 【各専攻における理念】

### ● 文学研究科国文学専攻 (中学校教諭専修(国語)・高専修免(国語))

国文学専攻では、古代から近代に至る国文学、国語学、漢文学に加えて西欧及びアジアとの比較文学といった関連領域の授業も設け、あらゆる時代、ジャンルの文学の研究に対応している。これによって、基礎的かつ広範な学識を身に付けた人材を養成し、専門的知識を具えた国語科教員の育成を目的とする。

## 【段階的目標とその計画】

### <国文学専攻> (中学校教諭専修(国語))

履修年次		到達目標と計画
年次	時期	
1年次	前期	研究指導及び授業科目を履修することにより、幅広い教養を身に付け、国文学の系統的理解を養成することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
	後期	引き続き、研究指導及び授業科目を履修することにより、幅広い教養を身に付け、国文学の系統的理解を養成し、問題発見・問題解決能力を強化することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
2年次	前期	2年次を迎え、修士論文を作成していく中で、国文学の知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化し、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に高め、なお且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
	後期	引き続き、修士論文を作成していく中で、国文学の知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化し、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に高め、なお且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。

### <国文学専攻> (高等学校教諭専修(国語))

履修年次		到達目標と計画
年次	時期	
1年次	前期	研究指導及び授業科目を履修することにより、幅広い教養を身に付け、国文学の系統的理解を養成することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
	後期	引き続き、研究指導及び授業科目を履修することにより、幅広い教養を身に付け、国文学の系統的理解を養成し、問題発見・問題解決能力を強化することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
2年次	前期	2年次を迎え、修士論文を作成していく中で、国文学の知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化し、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に高め、なお且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
	後期	引き続き、修士論文を作成していく中で、国文学の知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化し、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に高め、なお且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。